

【研究概要】

免疫不全患者における SARS-CoV-2 の持続感染は COVID-19 の重要な課題であり、特に B 細胞を抑制する治療を受けた患者で感染が持続しやすく、予後不良である。これまで中和抗体や抗ウイルス薬などを用いた治療法の有用性が報告されているが、薬剤耐性変異の出現で治療が長期化することがある。本研究では、患者の免疫状態とウイルス変異を追跡し、病態解明と新たな治療法の開発を目指す。